

建設委員 会

ニュース

第 19 号

発行日
2019年
4月1日

あいつぐ募金目標達成！ 泉州、大阪市、京阪の各ブロックで

3月4日（月）午後7時から谷町福祉センターで泉州施設建設委員会事務局会議があり、清田委員長の挨拶の後、里井事務局長から前回の事務局会議からの進展報告がされました。

大聴協各ブロック募金 状況について

報告によると、3,000万円の募金目標のうち大聴協が達成しなくてはならない750万円の募金について、泉州、大阪市、京阪の各ブロックがそれぞれの目標額を達成し、引き続き頑張っていると報告がありました。

その他のブロックの状況では、北摂ブロックは達成率が57.3%、河内ブロックは達成率が50%となっています。

大阪市ブロックは、ブロック三団体でいろいろなイベントを計画して目標を達成。泉州ブロックは各市で上映会などを計画してもらい目標を達

成しました。京阪ブロックはイベントを計画、成功させ目標を達成したと報告がありました。

北摂ブロックでは、ブロック長がいる高槻市で目標を達成、茨木市が続いている状況です。吹田市は現在、協会の理事がいらないため動きが弱くなっていますが、人口の多い豊中市とともに協会会長と相談して目標達成できるように頑張りたいと報告がありました。

府下一斉街頭募金額の 到達状況について

里井事務局長から、街頭募金の到達額についても報告がありました。これまで街頭募



金を5回実施した結果、4,433,041円集まっております。目標の500万円にももう少しという状況だそうです。

後もう1回街頭募金を実施して70万円を集め目標を達成したいです。やり方としては、今まで5回の街頭募金は施設建設のための募金に回しており、法人後援会の運営が厳しい状況となっています。2019年度は元に戻し春秋の年二回の街頭募金額は法人後援会に入れ、これとは別に大聴協主催でもう1回計画したいとのことでした。

この方針は承認され、全体会に出すことが決まりました。

各ブロック目標と到達額

	大阪市	北摂	京阪	河内	泉州	合計
募金目標	1,800,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,800,000	7,500,000
募金到達	1,833,555	745,349	1,438,657	649,591	1,815,691	6,482,843
到達率	101.9%	57.3%	110.7%	50.0%	100.9%	86.4%

50円募金の到達状況について

法人の鍋谷さんから報告があり、法人関係の目標は209口です。前に目標を達成しており、前回の報告から約30口増えて全体で計391口になったとのことでした。

申し込みを受け付けていて気がついたこととして団体名で募金される場合、一番上の名前欄に個人名を書かず、団体名、代表者の名前を記入してほしいとのことでした。

大聴協執行代議員以上を対象とした100口については、大聴協長宗さんから、67%の申し込み・納入のうち、京阪ブロック役員は全員登録済。泉州・北摂・河内はあと1〜2名。大阪市ブロック役員

の半数がまだ申し込んでいないので、早く登録をすすめて欲しいと報告がありました。

また、大聴協ブロック別の到達状況を見ますと、大阪市30,0%,北摂60,0%,京阪50,0%,河内46,6%,泉州98,0%で、大聴協全体の到達は300口の

目標に対しての182口で60,6%になっています。

これらの報告を踏まえて、ブロック募金目標額を達成したブロックは、50円募金の申し込み拡大に力をいれ、ブロック目標がまだ未達成のブロックは、まずブロック募金額目標の達成を目指すことになりました。

募金目標、50円募金目標の達成のために4月末から開かれる大聴協各ブロックの総会で、国庫補助金申請のために作った大阪府へのプレゼン用のパワーポイントデータを利用して法人から施設建設状況について説明を行うことも決定しました。

イベントについて

イベント実行委員会討議内容は、委員会を代表して北脇さんから報告がありました。

- ① 開催日
2019年8月25日(日)
- ② 開催場所
大阪市立阿倍野区民センター大ホール

イベント内容については、

那須英彰氏と「月曜男」のトークショーに決まったとのことです。当初の案であった昼夜2回行う案は、昼の一回のみ行うことになったそうです。チケットの普及目標は700枚。チケットの値段は次回の実行委員会で決めるとのことです。

トークショーをどのような内容で行うかは未定だそうです。

8月実施ですので、ブロック総会でチラシやチケットを渡せるよう次回の実行委員会で案を出し早急に印刷にかかりたいとのことでした。

最後に里井さんから、このイベントは収益の見込みが100万円くらいですので、2020年3月20日か21日に別イベントをもう一回計画したいと提案あり、承認されました。

その他の施設開設準備の報告

- ① 施設建設の状況

法人の三田さんから、来年の施設開所に向けて3月7日

に開所準備室を立ち上げており、4月から活動を始める予定と報告がありました。

同じく法人の吉見さんから施設運営の基礎になる施設利用者についての報告がありました。

必要な利用者数確保は、生活支援事業は定員25名で、なかまの里のなかまの利用が中心のため、90%以上の稼働率の確保は大丈夫と思われる。しかし、就労継続支援事業B型は定員が20名で、なかまの里のグループホームから10数名、地域からの利用者10名を考えています。地域からの利用者10名を確保できるように、開所準備室メンバーを中心に在宅のろうあ者宅を訪ねていきます。週1〜2日程度の利用を考えると、30名くらいの登録者の確保が必要となります。

利用者確保の訪問については、実態調査時に「開所後すぐの利用を希望する」また「センターの情報提供を希望する」と、氏名と住所を届出

いただいている方を優先に、地元協会の会長(役員)等の

協力を得ながら訪問する予定です。また、泉州地域にある聴覚支援学校や各種支援学校、日中活動の事業所(作業所)への訪問も計画的に進めます。

施設経営では福祉医療機構から5,000万円を建設資金として借り入れをするため、年間300万円を超える借入金の返済を2年間続ける必要があります。そのため、初年度から生活介護事業95%、就労継続支援B型80%の稼働率を達成し、1年目は400万円、2年目800万円程度の収支差額を残せる様に準備を頑張っていきたいとのことでした。

次回会議の予定

- 3月27日(水) 事務局会議
- 3月29日(金) 全体会議

